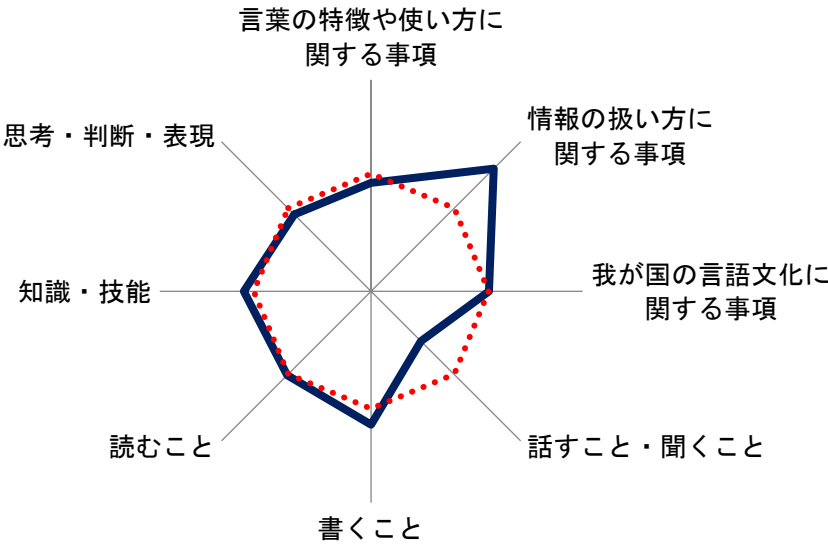


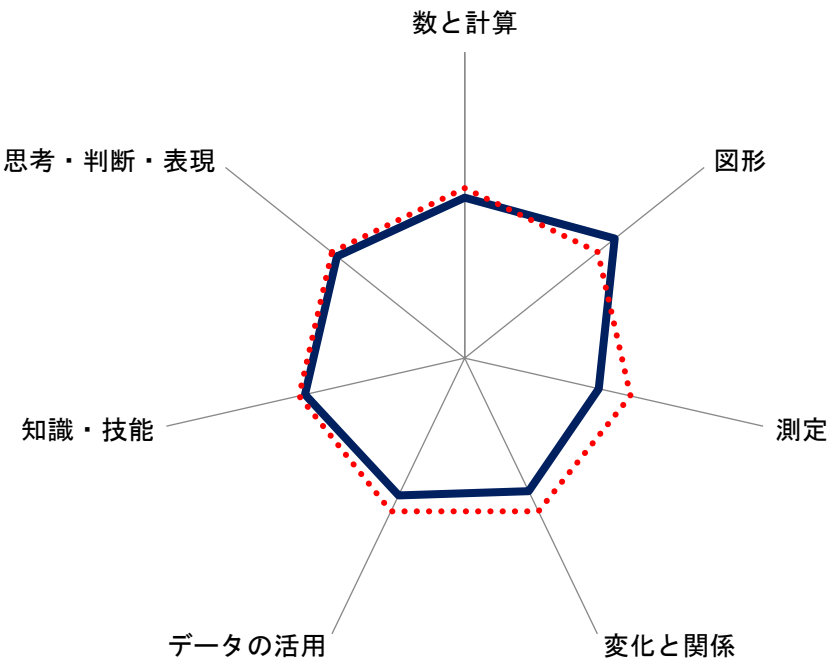
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 町平均
..... 全国平均

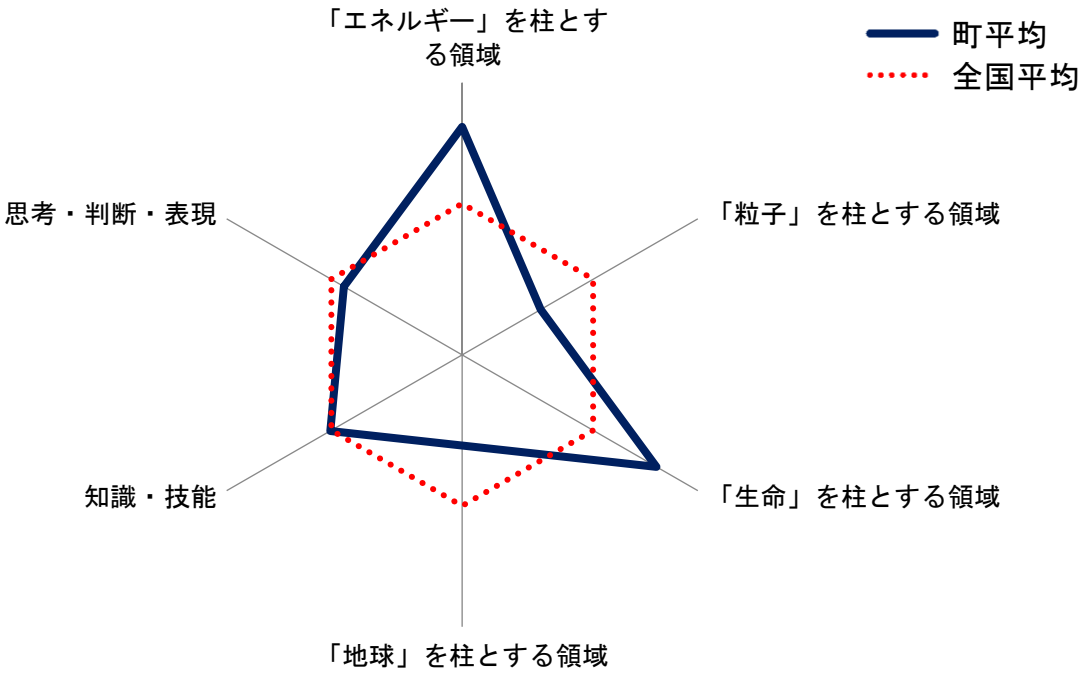


【算数】

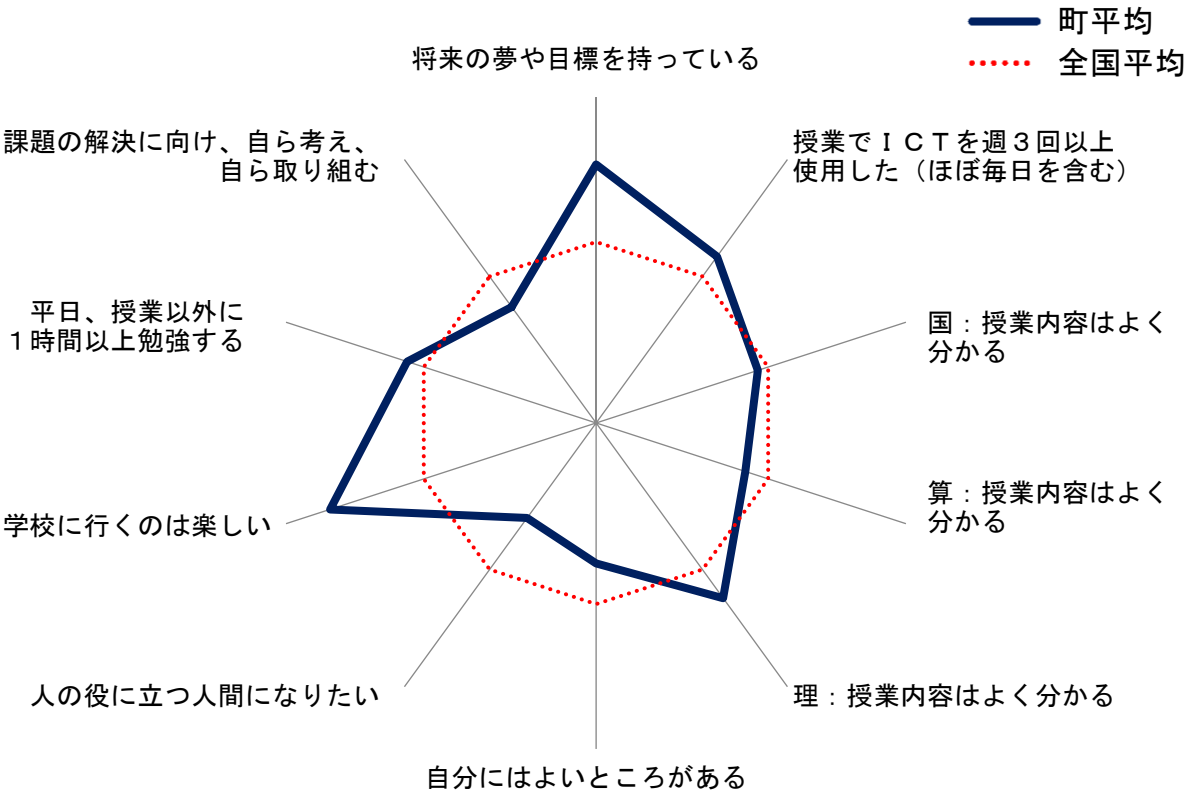


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「情報の扱い方に関する事項」が全国平均を大きく上回っているものの、「話すこと・聞くこと」の項目は全国平均を大きく下回っている。理科の項目については、全国平均との差に大きなばらつきが見られる。また、全ての教科で「思考・判断・表現」の項目が全国平均を下回っており、課題である。今後、児童一人一人の結果を詳細に分析し、課題を明らかにした上で、知識及び技能の確実な定着と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の向上を相互に関連付けた授業づくりにより、学びの質を高める取組が望まれる。

児童質問調査では、昨年度課題となっていた「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」の項目が大きく改善され、全国平均を大きく上回る良好な結果が得られている。また、理科の「授業内容はよく分かる」「授業でICTを週3回以上使用した」の項目も全国平均を大きく上回っているが、「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」の項目は、全国平均を大きく下回っており、課題である。今後も、松野町を誇りにたくましく生きる児童の育成に向けて、自己肯定感を高める活動や「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進することが望まれる。